

ワンパークフロアスリム

施工説明書
施工業者様用

「施工業者様へのお願い」
「取扱説明書」を添付しております。お施主様が製品を安全に正しくご使用していただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載しておりますので、必ず、お施主様に手渡していただきますようお願いいたします。
(取扱説明書は弊社HP <http://www.daiken.jp/>よりダウンロードも可能です)

警告表示の種類と内容 ■ 弊社製品を長期間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

■ シンボルマークと意味：誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

 **注意** 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 警告図記号について：本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 「してはいけない」を示します。  「必ずおこなっていただくこと」を示します。

安全のためにお守りください

 注意 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	 「してはいけない」を示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品は一般内装用(上履き用)の床材です。重歩行用(土足用)には使用できません。 ● 本製品は床暖房用仕上げ材としては使用できません。 ● 洗面、脱衣所等の頻繁に水がかかる場所には使用しないでください。長時間水に濡らしたまま放置しますとシミ、シワ、腐蝕等の原因となります。
	 「必ずおこなっていただくこと」を示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品は強度部材・構造部材ではありません。施工も既存の床材や、床下地から上から施工するだけの方法をとるため、床下地の調査・確認が十分必要です。施工時に下地となる床材等が十分な強度を保持しているか確認の上、施工してください。 ● 床下の換気を十分に行えるように換気口があるか確認してください。床下が多湿な場所であったり風通が悪い場合、腐朽の原因となります。 ● ピアノ、大型冷蔵庫等の重量物を置く場合には下地が十分に補強されているか確認してください。 ● 本製品の廃棄は各自治体の規制に基づき適切な処理をしてください。 ● 本製品は、接着材施工と、両面テープ施工の2種類がございます。接着剤施工では既存フローアへの現状復帰はできません。ご注意ください。

施工方法

※根太張り工法はできませんのでご注意ください。

(1) 下地の確認

● 施工前に下地条件をよくご確認ください。

【施工可能な下地条件】

- 既存の木質床材
- 12mm以上の合板下地（パーティクルボード、針葉樹合板などは不可）

【施工できない下地条件】

- コンクリート・ALC・クッションフロアー・Pタイル・カーペット・無垢フロアー・二重床
- クッション付フロアー・粘着（両面）テープ施工されたフロアー・木質床暖房
- その他特殊加工（凹凸加工等）が施された床仕上材（裏面クッション付【直張、遮音等】フロアー）
- 下地の段差及び目隙は、0.5mm以内とし、段差が大きい場合は、カンナ等で、できるだけフラットになるように調整してください。また、目隙が大きい場合は、下地フロアーの目隙の大きい部分と本製品の目地が重ならないよう、割り付けを行ってください。
- 下地材は、ビスまたは釘（間隔303mm以下）で根太・大引に固定してください。
- 下地材は、平滑になるように調整し、つなぎ目等の段差は0.5mm以内になるように調整してください。
- 下地材に床鳴りや異常なたわみのある箇所がないか点検してください。
- 下地材の含水率を確認してください。最適含水率は、木材水分計で8～12%程度です。
- 下地材の表面のゴミ、木屑、ほこりを除去してください。
- 既存床材の上に施工する場合は、掃除機を用い、十分に清掃してください。（下地表面にゴミやホコリ、油分が残っていると接着不良、突き上げの原因となります。）また、ワックスなどもワックス剥離剤などを使用し取り除いてください。
- 遮音マット等木質以外の下地には直接施工しないでください。
- 床下の換気を十分に行なえるように、換気口を設けてください。（建設基準法施行令に準拠）
- 床下湿気による床材の吸湿による伸びを考慮し、壁際部に隙間（3～5mm）を取ってください。特に、広い面積や長い廊下等で施工される場合、突き上げの起こる恐れがあります。
- ピアノ・大型冷蔵庫等の重量物を置く場合には、下地の補強を十分に行ってください。
- マンション用直張防音用床材の上には直接施工しないでください。

施工方法は動画で確認出来ます。



両面テープ施工

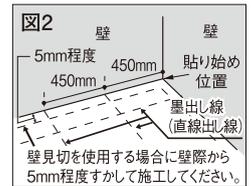
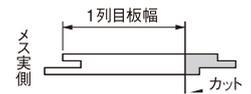


接着剤施工

(2) 割り付け・墨出し

- 部屋隅の納まり等を考慮し、全体の割り付けをしてください。壁際の部分が極端に狭い板にならないように部屋の幅を測り、1列目の板幅を決定してください。1列目は、オス実側をカットし、メス実を残してください（図1、図2）。
- 貼り始め位置から、長手方向に450mmピッチで墨出しを行います。
- リモデルフローア見切3T 壁見切を使用する場合は、壁際を5mm程度、空かして、割り付けを行ってください。
- 貼り順は、貼り始め位置・長手方向の右奥から、左手前方向に順に貼っていきます。

図1



【両面テープ施工の場合】

(3) 両面テープ施工

- カーペット用などの強弱テープ(厚さ：0.4mm以下、巾：30～50mm)をおすすめします。
- 床材裏面の長辺に図3の様に両面テープを貼り、よく圧着してください。両面テープを貼る際、長辺メス実側端部より5mm程度離して両面テープを使用してください。
- 強弱両面テープの場合
ワンパークフロアスリム側に接着力：強、
下地側に接着力：弱を使用

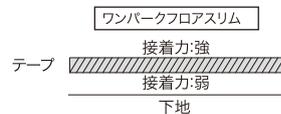
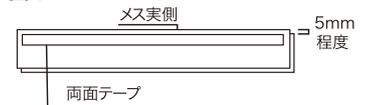
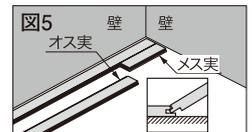
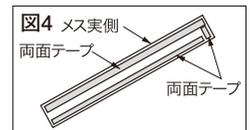


図3



(4) 貼り始め

- 貼り始め1列目床材の裏面を図4のように両面テープを貼り、離型紙を剥がします。
- 下地に軽く置き、押さえつけないように適切な位置にずらしてから圧着します。
- 2列目以降は図3のように両面テープを貼り、施工します。
- 施工は施工されているフローアのメス実におス実を差し込む形で施工してください（図5）。



⚠ 注意

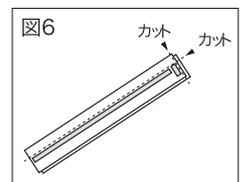
- (1) 部屋の納まりを考慮し、事前に部屋の幅を測り、1列目のフローアの幅を決定してカットしてください。施工は必ずレンガ貼り（450mmズラシなど）で施工してください。フローアの隣同士の目地が揃うと本製品の変形や破損の原因となります。
- (2) 下地と上貼りフローア継ぎ手が重ならないようにしてください。
- (3) フローアと壁際は5mm程度あけてください。

(5) 貼り納め

- 納まりの面積に従って寸法を測り、製品をカットして納め際の裏面に両面テープを貼り、離型紙を剥がします（図6）。
- 下地に軽く置き、押さえつけないように適切な位置にずらしてから圧着します。

⚠ 注意

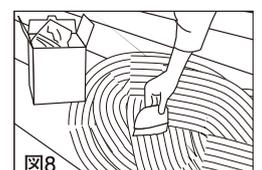
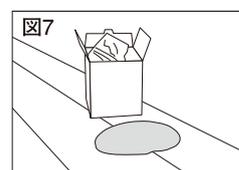
貼り納め製品と壁際は5mm程度あけてください。



【接着剤施工の場合】

(3) 接着剤塗布

- 接着剤は直床工法用ボンドを使用してください。
- 適量の直床ボンドウレタンLVを下地に直接流してください。（600～700g/m²）（図7）。
- 直床ボンドウレタンに同梱されているクシ目ゴテで下地に均一にのぼしてください（図8）。

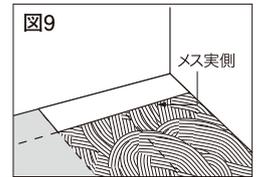


⚠ 注意

接着剤を指定のくし目ゴテでならさない場合、接着剤の糊山が原因で外観を損なう場合がございます。

(4) 貼り始め

- 本製品を施工します。
- オス実を奥側、メス実を手前側にして貼り始め位置より施工します（図9）。
墨出し線に合わせて、1枚目を施工してください。



(5) 1列目の施工

- 1枚目及び基準線に合わせて、2枚目以降1列目を施工します。
- 1枚目エンドのメス実と2枚目のエンドのオス実を差し込むように施工してください（図10）。
- 接着剤の染み出しを防止するため、大きく滑らせて実を嵌合しないよう注意してください。
- 一列目は必ず仮釘などで固定してください（図10）。



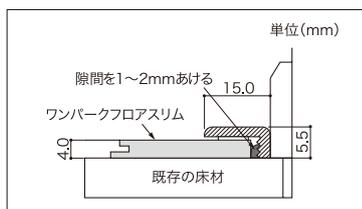
⚠ 注意

- (1) 本製品は、本実加工をしております。メス実下は大変薄くなっておりますので、取り扱いにはご注意ください。
- (2) メス実の下実の一部が変形している場合は、オス実を差し込みやすいよう、実を直してから施工してください。
- (3) 必ずレンガ張り（450mmズラシ等）で施工してください。隣同士の目地が揃うと本製品の変形や破損の原因となります。

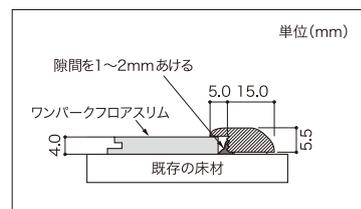
(6) 納め

- 壁見切、段差見切及び巾木等の造作材を施工してください。

【納まり例】 ■リモデルフローア見切 3T
樹脂仕様 壁見切 納まり図



■リモデルフローア見切 3T
樹脂仕様 段差見切 納まり図



(7) 養生・美装

- 施工直後は、必ず弊社の床養生ボードと床養生ボード専用テープを使用して表面を保護してください。布製ガムテープや広幅クラフト粘着テープ・ビニールテープ等は粘着力が強すぎて、床材表面を損傷したり、変色の恐れがありますので、絶対に使用しないでください。養生テープの上を繰り返し歩行したり、重い物をのせていると粘着力が強くなります。
貼った養生テープを剥がすときはゆっくりと剥がしてください。急激に剥がすと表面を損傷する恐れがあります。
- 養生部分で脚立等を使用する際は必ず合板等を上に敷いてから使用してください。
- 美装時に多量の水を使用しないでください。床材が水分を多く含むとふくれ等の原因となります。
洗いの際は濡れ雑巾を避け、乾いた雑巾やモップをご使用ください。やむを得ない場合は、かたく絞った雑巾をご使用ください。
- ワックス掛けは必要ありません。お客様のご都合でワックス掛けされた場合、床材表面の性能はワックス膜の性能となり、製品本来の防滑性能が発揮されなくなります。その上でワックス掛けをされる場合は、弊社の「DKワックスネオ」をご使用ください。
他のワックスを使用されますと、塗布ムラ、密着不良等のトラブルの原因となります。
- ワックスをご使用される場合は、説明書き等をよく読んで使用法を守ってください。
- 本製品の塗装面に比べて、ワックス面の方がシミ・汚れになりやすく、剥がれやすいことをご承知ください。
- ワックスはバケツ等で床に撒かないでください。
- ワックスを塗布する場合は、天気の良い日を選び、風通しを良くしてください。
なお、室温が5℃以下の時や、雨天で湿度が極端に高いときは、ワックスが白化したりすることがありますので、塗布はさけてください。
- 剥離剤は木質床材の表面塗膜を侵しますので、ご注意ください。
- 油性ワックスは、すべりやすく、汚れやすく、密着しにくいので使用しないでください。

美装時のワックス掛けは必要ありません。

警告表示の種類と内容 ■ 人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて、内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

■ シンボルマークと意味：誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

⚠ 注意 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 警告図記号について：本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

⊘ 「してはいけない」を示します。

❗ 「必ずおこなっていただくこと」を示します。

安全のためにお守りください

<p>⚠ 注意</p> <p>誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</p>	<p>⊘</p> <p>「してはいけない」を示します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品は上履き用です。土足では使用しないでください。 ● 本製品は床暖房仕上げ材としては使用できません。 ● キャスターの種類や荷重、頻度等の使用状況によっては、凹み傷や表面剥離が生じる場合があります。金属製キャスターや球状キャスターの使用はお控えください。キャスターの使用頻度が高い箇所はカーペットなど敷いて、床材を保護してください。 ● 日常のお手入れで、化学雑巾は使用しないでください。化学雑巾の種類によって、含まれる成分で床材の性能が発揮されなくなったり、表面が白化する恐れがあります。 ● 水拭き、スチームモップは、床材を傷めますので使用しないでください。 ● 滑り止め機能付きスリッパのご使用は床表面の摩擦を促進するためお控えください。
	<p>❗</p> <p>「必ずおこなっていただくこと」を示します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品は小型犬の肉球の滑り抵抗を考慮しておりますが、全てのペット(犬・猫)の歩行に最適とは限りませんのでご注意ください。 ● 重量物(ピアノ等)を置く場合は、敷板等を脚部の下に敷き、重量を分散させてください。(8kgf/cm²以下) ● テーブルや椅子を引きずりますと、床材表面を損傷する恐れがあります。足先にフェルト等を付けて床材表面を保護してください。 ● キッチンシンク前、洗面前、浴室出口前のように常に水のかかる場所については、滑りやすくなり危険ですので必ず足拭きマットをご使用ください。 ● 床材を長時間水に濡らしたまま放置しますとシミ、シワ、腐食等の原因となるだけでなく、滑りやすくなり危険ですので速やかに拭き取ってください。 ● ペットのそそぐなどは臭いが残る恐れがあるため、速やかに拭き取ってください。

末永くご使用いただくための注意事項

- 床材の表面の汚れは速やかに拭き取ってください。床材表面に汚れが付着すると染みの原因となる恐れがあります。
- お手入れは次の方法でおこなってください。

日常のお手入れをするとき	→	乾いた雑巾で拭く
汚れがひどいとき	→	固く絞った雑巾で拭く
上記方法でも汚れが落ちないとき	→	床用の洗剤(※)を含ませて固く絞った雑巾で拭く

※使用する場合は、メーカーの使用方法に従ってください。

- ワックスによるお手入れは基本的に必要ありませんが、お客様の都合によりワックス掛けをされる場合は、弊社の「DKワックスネオ」をご使用ください。他のワックスを使用されると、塗布ムラ、密着不良等のトラブルの原因となります。
【DAIKENパーツショップ(<http://www.daiken.jp/service/>)にて販売】
- ワックス掛けをされると、ワックス膜により床材表面本来の防滑性能やその他性能、質感が損なわれますので、ご承知ください。

ワックスによるお手入れは必要ありません。

※経年劣化により表面の艶が著しく変化した場合には、弊社の「DKワックスネオ」のご使用をお勧めします。

DAIKEN製品の品質保証について

対象製品	ワンパークフロアスリム	①建物の設計・施工に起因する不具合 ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合 ③自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合 ④室内であっても部屋内外の温湿差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合 ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合 ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合 ⑦入居者または第三者の不適切な使用または維持管理等に起因する不具合 ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、摩耗、破損、変形などによる不具合 ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、劣化・摩耗などの不具合 ⑩用途外に使用された場合の故障および損害(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等) ⑪犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合 ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合 ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合 ⑭製造時に実用化されていた技術では予想することが不可能な事象に起因する場合 ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費 ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合
保証事項	外観上の著しい変形・変質(反り、ハガレ、中層ハクリ)が無いこと 弊社指定の施工場所に弊社の施工方法・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、上記事項を保証します。なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。 【保証箇所】 基材、表面	
保証期間	施工完了後より2年間 ※保証期間とは、弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で処置する期間としております。保証期間を経過したものは有料となります。	
免責事項	製品の不具合が右の①～⑯のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。	※1:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

製品を末永く安全にご使用いただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録サービス ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!! 登録はこちらから <http://www.daiken.jp/user/>

ユーザー登録いただいた方には、右記の特典が受けられます。

特典 パーツショップ製品の10%割引
ご登録いただくと、DAIKENのパーツショップ取扱製品を通常価格から10%割引での特別価格でご購入いただけます。